

笑顔の種を蒔く^ま

河川敷一面に咲くコスモスー。

毎年秋になると迫間川や合志川などの河川沿いにコスモスが美しく咲き誇ります。コスモスの時期には祭りやマラソンも開催。多くの人がその風景を楽しんでいます。

秋の風物詩でもあるコスモス。その美しい景色には、さまざまな歴史と地域の人たちの努力がありました。





旧七城町と旧泗水町の広報紙。表紙や紙面にもコスモスが登場



雨の中のコスモスウオーク(平成28年)



第1回七城コスモスマツリ(平成14年)



第30回しすいコスモスマラソン大会(平成27年)

地域に根付いた花

河川敷を彩るコスモスは、合併前から行われてきたさまざまな取り組みが脈々と受け継がれてきたものです。地域とコスモスの歴史を紐解きます。

町花に指定されていたコスモス

例年よりも立派に咲かせたい

コスモスは合併前の旧泗水町で昭和60年に、旧七城町では昭和63年に町花に指定され、町の振興策として栽培が進められた歴史があります。特に旧七城町では、平成7年ごろから進められた公共下水道事業が完成に近づいていました。また、菊池川流域で特定外来生物のブラジルチドメグサの大量発生や、国から河川の高水敷(増水時に水が浸かる河川沿いの平坦な土地)整備の委託などが重なったこともあり、河川の美化のため、平成13年ごろから町を挙げてコスモスの栽培に取り組み始めました。

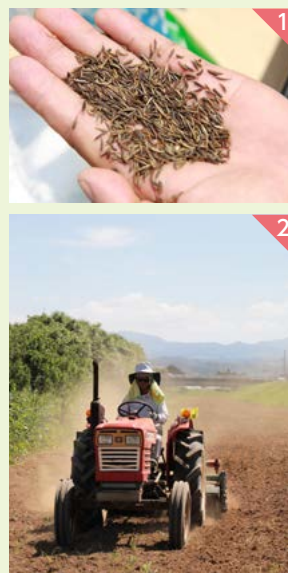
旧泗水町では町花に指定された昭和60年から「コスモス・マラソン大会」を開催。旧七城町で平成14年から開催されている「七城コスモスマツリ」とともに、地域の祭りとして定着しています。

「当時は生駒高原(奈良県)や遠賀川(福岡県)、産山村のコスモスがにぎわいを見せていました」と語るのはコスモスの栽培を担当する七城支所市民生活課の霍田光一郎総務審議員。

旧七城町は菊池川、迫間川などに囲まれており、河川との結びつきを大事にしてきました。七城コスモスマツリを始めた年には、「七城・川を愛する日」設置要綱を定めたほど。河川の整備を進めても殺風景。親しみを持ってもらうためにも、人が集まりやすい仕組みを整える必要がありました。「遠賀川の取り組みを参考にしました。種をまく時期は毎年調整しているが、きれいに咲かせるのは難しい。それでも、例年よりも立派に咲かせたいですね」と秋に向けて意気込みを語りました。

きれいな花を届けたい

七城と泗水では、祭りやマラソンに向けてコスモスの栽培が進んでいます。ベストなタイミングでの開花を目指し、奮闘は続きます。



1_コスモスの種。元気に花を咲かせるようお願いを込めてまきました 2_トラクターで何度も土壌をならす 3_暑さ対策を十分に行いながら種まき作業

七城の高水敷で作業中

「コスモスは天候に左右されます。晴天が続いているので、少しでも雨が降ってほしい」と語るのは七城地区の高水敷でコスモスの栽培を担当する土木作業員の鍵水雄一さん（下橋田）と坂本博史さん（堀切）。10月27日（土）の七城コスモスマつりに向けて作業をしています。

最高気温が35度を超えた8月中旬の真夏日、約10人の作業員が額に汗を流します。高水敷は河川のそばで土が少なく石が多いため、トラクターで何度も土壌をならしてから種をまく必要があります。「ある施設では、施設の行事として、入所している高齢者が大勢見学に訪れます。来た人に喜んでもらいたいのので、心を込めて育てています。いいタイミングで咲いてほしい」と

泗水でも準備が進行中

鍵水さん。「河川敷にはひまわりも植えています。きれいに育ったらぜひ見に来てもらいたいですね」と2人は口を揃えました。

泗水地区でもコスモスマラソンに向けて準備が進みます。内田宰さん（富の原台）ら地域住民が中心となり、毎年マラソンのコースに合わせて河川敷にコスモスを植えています。「ランナーの皆さんが、マラソン当日に爽やかな気持ちで走れるようにしたい」と笑顔を見せます。



土木作業員（左から）
坂本博史さん（堀切） 鍵水雄一さん（下橋田）

花は人も地域も元気にします

花には人の心をひきつける力があります。散歩中に沿道の花を眺める人も多く、交流も生まれます。花の世話をしていると、『きれいですね』と声をかけられることも。また、植物は安心感を与えてくれるほか、心を穏やかにします。アメリカ力では地域に花や緑を植えると犯罪発生率が低下した研究結果もあります。

育てた花が咲いた喜びで、新たに絵や写真を始めた人も植物をきっかけに人が元気になる、さらに地域も明るくなる効果が期待できます。



宮村明花園
グリーンアドバイザー
檜枝末歩さん（片角）



コスモスの豆知識

原産地はメキシコ。もとはピンク1色でしたが、日本で盛んに品種改良が行われ、さまざまな色が誕生しました。花言葉は「乙女の真心、謙虚、調和、平和」など。

コスモスを育てると
心が和んで地域も元気に

高田区では迫間川沿いの農地を利用し、10年ほど前から地域の人が協力してコスモスを育てています。富田親由区長は「コスモスを見る人の心を癒やすだけでなく、手入れをする私たちの心も和ませてくれるんですよ。でも、きれいに咲かせるのは大変。近年は気温も高いし、雨もなかなか降りません」と苦労をにじませます。作業は老人会の人たちが中心。地域住民をまとめ、毎年先頭に立って引っ張っています。

コスモスで明るい地域に

住民たちが主体となり、コスモスを育て続ける地域があります。地域を明るくしたい。花に込めた思いを聞いてみました。



高田区長
富田親由さん(高田)

植えています。富田区長は「農地だけでなく、地区のさまざまな場所にきれいなコスモスが咲きます。地域が明るくなるので、これからも続けていきたいですね。開花が待ち遠しいです」とうれしそうに話しました。

住民で作ったコスモスロード 地域のつながりも深まった

「地域を元気にしたい思いが第一。花でまちに彩りをつけたい」。そう話すのは永区の荒木清人さん。公民館長を務めていた時期には、小規模になっていたホタル祭りやどんどこといった地域行事を再興。地域に呼びかけ、平成17年には公民館の花壇でさまざまな花を育て始め、道路沿いにはコスモスを植えました。「花があると、地域が明

るくなるでしょう。きっとみんなも喜ぶと思って」ときっかけを振り返ります。

永区では老人会や青年部、婦人会、消防団など住民が地域行事に積極的に参加。清掃活動やコスモスの種植えには、毎年多くの住民が参加するそうです。「きれいな花が咲くからみんなも喜んでくれて、地域の輪も広がったんです。コスモスが地域の伝統として根付いてうれしい。子どもたちも大喜びです。未来を担う世代にも、地元を愛着を持ってもらえたら」と目を細めます。

今では、道路沿いの約400段に渡りコスモスが並びます。「コスモス越しに見える夕陽は最高ですよ。たまたま通りかかった人にも、地域の素朴な景色を楽しんでほしいですね」



元永公民館長
荒木清人さん(永)



コスモちゃん

泗水町立図書館の開館を記念して公募。現在もコスモスマラソンのパンフレットに登場しています。



鴨川公園の遊具

七城の名産メロンとともに黄色のコスモス。子どもたちは気付いているかな。



鴨川公園橋のプレート

親柱の4箇所に、それぞれ町花や町の鳥などが描かれています。



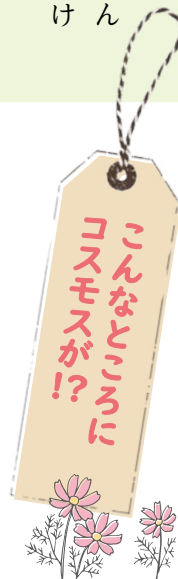
コスモブリッジと照明

宇田(コスモ)とコスモスをかけて命名。橋の照明をよく見るとコスモスが...



マンホール

泗水町時代の町章の周りに、コスモスがデザインされています。



七城ふるさと コスモスまつり

10月
27日(土)

1部 きくち歩き愛です 〜コスモスウォーク〜

とき 「受付」午前8時30分

「開会」午前9時 ※雨天決行

ところ 七城総合グラウンド

コース 七城総合グラウンドをスタート・ゴールとする河川敷特設コース。チャックポイントには菊池米とメロンの試食コーナーを用意しています。

▼50万本コース…5千円

▼100万本コース…10千円

申込方法 申込書に添付してある郵便振替か、商工観光課で直接申し込みを受け付けます。申込書は市役所商工観光課・各支所・市内各物産館・道の駅に設置しています。

申込期限 10月5日(金)

定員 千人

参加費 1人2千円

※歩き愛です歩数計を持っている人は千円。

※歩き愛です歩数計・保険・入浴券・参加賞・昼食を含みます。

※当日の受付はありません。

問い合わせ・申し込み先

菊池市七城ふるさとコスモスまつり実行委員会(商工観光課内)

☎0968(25)7223

2部 マルシェ・ ステージイベント

とき 同日

▼マルシェ…午前10時30分〜午後6時

▼ステージ…午前11時30分〜午後6時

ところ 七城総合グラウンド駐車場
駐車場 七城総合グラウンド・七城運動公園・七城支所

内容

▼マルシェ…雑貨、飲食

▼ステージ…太鼓

演武や豪華抽選会など



【司会】栗原めぐみ

仮面ライダー
ジオウが
やってくる!

ある 歩き愛です とは?

ウォーキングをしながら地域を愛する気持ちを高めるイベントです。今回は商業の活性化、健康増進を目的とした「きくち歩き愛です」として実施します。

① ウォーキング

「歩き愛です歩数計」を持って、ウォーキング!

② クイズラリー

コース内でクイズに挑戦! 正解するとボーナス歩数がかかります。



歩き愛です歩数計

泗水秋祭り 同時開催!



第33回 しすいコスモス マラソン大会

11月
3日(土)(祝)

とき 「受付」午前8時

「開会」午前9時

ところ 有朋の里泗水 孔子公園

種目・対象

▼3歳…小学生・親子ファミリー

▼5歳…中学生・一般男女

▼10歳…一般男女

※高校生は一般男女に含まれます。

参加費

▼中学生以下 千円

▼高校生 2千円

▼一般・大学生 3千円

申込方法 大会パンフレットに必要事項を記入し、郵便振替にて参加料をお支払いください。パンフレットは社会体育課・各公民館に設置しています。

申込期限 10月5日(金)

問い合わせ・申し込み先

しすいコスモスマラソン大会実行委員会(社会体育課内)

☎0968(25)7234

多くの人の思いを乗せて 今年もコスモスが咲き始めます

毎年、私たちの目を楽しませてくれるコスモスには、多くの人の努力が詰まっています。見頃は10月中旬から11月上旬の予定。秋のイベントに参加して、菊池のコスモスを満喫してみませんか。

